

空気の流^{なが}れを見てみよう

長崎大学

▼どんな実験・工作なの？

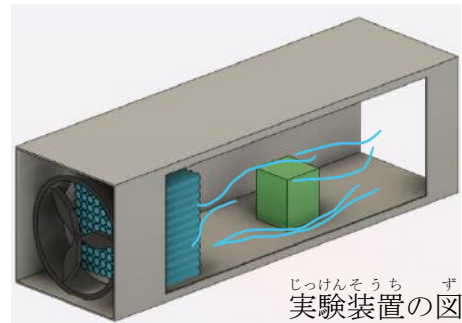
空気は身近な存在ですが、透明^{とうめい}なのでどんなふう^{なが}に動いているのを見ることはできません。この実験では空気の流^{なが}れを目に見えるようにします。

[用意するもの]

冷却ファン、ストロー、横長^{はこ きり}の箱、霧が出る加湿器^{かしつき}（代わりにドライアイスでも OK）、箱の中を見るための透明な板、流^{なが}れを見るために置きたいもの（車や飛行機^{ひこうき}の模型^{もけい}）

▼実験・工作のしかたとコツ

- ① 箱の中が見えるように切り、透明な板^{せっち}を設置します
- ② 箱^{はし}の端から空気が流^{なが}れるようにファンを設置します
- ③ 煙を見やすくするためにファンの前にストロー^{どうし}をくっつけたものを設置します
- ④ ファンの後ろに煙を出すものを設置します。ドライアイス^{ばあい}を使う場合は、コップなどの容器^{ようき}にぬるま湯^{いっしょ}と一緒に入れ、ファンの後ろ^おろに置きます。外に煙^にが逃げないように布^{ぬの}などで覆^{おお}ってあげると良いです
- ⑤ 車などの模型^{もけい}を入れて、その周りの空気がどう流^{なが}れるのか見てみましょう



▼気をつけよう

煙を出す装置^{そうち}はドライアイスでも代用できますが、直^{ちよく}接^{せつ}触^{さわ}るとやけどをしてしまいます。

軍手^{ぐんて}を必ずつけ、大人^{いっしょ}と一緒に作りましょう。